

## アイダホ州：小麦作柄と気象状況

2003年7月29日

### 2003年7月27日現在：

7月27日に終わる週も高温・乾燥気象が続き、平均気温は平年を7～14度Fも上回った。最高気温は各地で100度以上と成った。南西部には雷雨が発生し、多い所で0.56インチの降水に恵まれたが、他の地区では殆ど降雨は無かった。州平均農作業日数は6.9日（前週：6.9日）であった。

高温気象により冬小麦は急速に完熟し、7月27日現在全州の18%の冬小麦が収穫された。昨年並びに5年平均より早い進捗である。春小麦も全州の68%の圃場で登熟期に入り、全州の1%の春小麦が収穫された。冬小麦、春小麦共に作柄評価が前週より落ちた。収穫の進んでいる南西地区のソフト小麦の一部に夾雑物が多いとの報告があった。

7月1日付けUSDAの冬小麦生産量予想では別表の通り。単位収量は6月1日予想と変わらず82.0 bushels/acreであったが、収穫面積が6月1日予想より10,000 acres増加した。

### Topsoil 土壌水分：

Topsoil	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	30	40	30	0
Last week (%)	28	40	32	0

### 灌漑用水：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Water supply (%)	8	17	46	28	1

### 小麦作柄状況：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Spring Wheat (%)	0	10	26	43	21
Winter Wheat (%)	0	2	25	50	23

### 小麦進捗状況：7月27日現在

	North			S. W.			S. Cent.			State		
	7/27	A	Ave	7/27	A	Ave	7/27	A	Ave	7/27	A	Ave
Spring Wheat Harvested (%)	4	1	1	13	6	5	1	0	1	1	1	1
Winter Wheat Harvested (%)	14	6	10	39	22	21	34	0	12	18	5	9

A:2002年同期。 Ave:5年平均

Source：Idaho Agricultural Statistics Service

次のページへ

7月1日付け農務省発表冬小麦生産量予想：

	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				June 1	June 1		
Idaho	690	720	79.0	82.0	82.0	54,510	59,040

当該作柄レポートへのご質問は下記宛てにお願い致します。

小川正晃 : E-mail [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)